



## 鎌倉女子大学

児童学部子ども心理学科

**藤澤 文** (ふじさわ あや)

所在地：鎌倉市大船 6-1-3

[http://www.kamakura-u.ac.jp/faculty/children\\_c\\_u/](http://www.kamakura-u.ac.jp/faculty/children_c_u/)

### Profile—藤澤 文

鎌倉女子大学児童学部子ども心理学科講師。専門は道徳心理学。著書は『青年の規範の理解における討議の役割』（ナカニシヤ出版）、『モラルの心理学』（共編著、北大路書房）など。



### はじめに

鎌倉女子大学は神奈川県鎌倉市に所在する、3学部（家政学部、児童学部、教育学部）からなる大学であり、創立72周年を迎えます。キャンパスは大船・岩瀬・二階堂学舎・山ノ内学舎の四つからなり、大学・大学院・短期大学を併せた約3,000名の学生が大船キャンパスで学んでいます。また、岩瀬キャンパスには本学付属幼稚部・初等部・中等部・高等部があります。

大船キャンパスから一歩外に出ると、鶴岡八幡宮、鎌倉の大仏など歴史ある建築物が数多くあります。また、四季折々の変化を感じることのできる葉山や湘南の海も広がります。このように本学は環境にとっても恵まれています。同時に、本学最寄り駅（JR大船駅）からJR横浜駅までは約17分、本学から東京・渋谷・新宿などへも乗り換えなく行くことのできる便利な立地でもあります。そのため、学生は神奈川県内からはもちろんのこと、東京都、埼玉県、静岡県など幅広い地域から自宅通学することが可能となっています。

### 心理学を学ぶ

本学児童学部には児童学科と子ども心理学科という二つの学科があり、子ども心理学科において心理学を包括的に学ぶことができます。

子ども心理学科の学びは入学前教育の課題に取り組むところから

始まります。入学後はすべての学生が少人数制のスタートアップセミナーを受講し、大学での学び方や大学4年間の過ごし方、将来の目標設定など大学生活をより充実させることができるよう、準備を行います。同時に、心理学の基幹科目（例：「子ども心理学研究法」、「教育心理学」）の履修も始まります。後に述べる、本学で取得可能な資格に関連する科目の受講も1年次から始まります。2年次には引き続き心理学を網羅的に学びながら（例：「心理学実験」）、3年次から始まるゼミナールの選択を行います。さらに、企業学習プログラムもスタートします。3年次には専門科目の履修に加えて、本学科ではすべての学生がいずれかの教員のゼミナールに所属し、専門的な学びを深めていきます。また、「子ども臨床心理実地研究」の履修も始まり、心理臨床の現場で見学・実習を行います。4年次にはおおむねの学生が卒業論文を執筆したり、あるいは卒業制作（作曲・演奏）を行ったりします。また、正課以外において



写真1 右から音楽棟、実験棟（心理学実験室、知覚実験室、心理療法室などは2階）、カフェテリア

も、図書館や情報処理室において実習やレポート課題の準備や復習を行ったり、音楽棟においてピアノの練習を行ったりすることが可能です。

### 子ども心理学科所属教員

児童学部長の佐藤淑子教授（児童学・教育学）をはじめとして、子ども心理学科には学科長・小国美也子教授（小児医学・病態学）、加藤吉和教授（児童臨床心理学）、春日美奈子教授（司法福祉）、廣田昭久教授（生理心理学）、青木万里准教授（臨床心理学）、伊藤嘉奈子准教授（臨床心理学）、大平実准教授（教職・生徒指導）、渡辺宏章准教授（作曲）、太田一郎講師（英語コミュニケーション）、佐治伸郎講師（認知科学）、吉岡範武講師（イギリス文学）および筆者（教育心理学）の12名の教員が所属しており、日々、教育活動に携わっています（詳細は本学ホームページの専任教員一覧を参照ください）。本学科には医学・心理学の教員だけではなく、教職関連科目の教員も所属しています。そのため、学生は心理学を専門的に学びながら、音楽、英語、司法、教職のゼミナールを選択することも可能です。また、紙幅の都合上、紹介することができませんが、近接領域の学科にも心理学を専門とする教員が数多く所属しており、受講可能です。

### 子ども心理学科で取得できる資格

本学科では、幼稚園教諭1種免許状、小学校教諭1種免許状、特別支援学校教諭1種免許状、養護教諭1種免許状、認定ムーブメント教育・療法中級指導者、認定心理士の資格を取得することが可能であり、多くの学生がいずれかの免許の取得を希望しています。いずれの免許を取得希望の学生も1年次から計画的に学習を積み重ねていく必要があります。また、学内には保健室や幼稚園の教室が用意されており、学校や幼稚園にいるかのように実践的に学ぶことができます。本学付属幼稚園部や小学校を訪問し、実際の教育現場や授業を見学したりすることもあります。

さらに、毎年、おおむねの4年生は日本心理学会が発行する認定心理士の資格を取得しています。その理由として、「心理学を学んだ証が欲しい」「教職に就くにあたり、心理学の知識を併せ持つことを強みとしたい」などが挙げられています。加えて、近年では、日本心理学諸学会連合による心理学検定を受験する学生も増えてきており、3年生が1級を取得することもあります。

### ゼミナールとは？

学生が3年次から2年間所属するゼミナールは指導教員のもと少人数（1学年最大10名）で専門的な学びを深めていくものです。たとえば、「道徳心理学」のゼミナール（4年生1名、3年生7名、聴講生1名）では、週1回ゼミナールを開講し、3年前期には『道徳性心理学』（北大路書房）を輪読し、道徳性研究に関する知識を身につけています。また、道徳に関連する文献を紹介したり、日本心理学会などが開催するセミナーや講演を聞きに行ったり、あるいは付属

校などの道徳の授業を見学させてもらったりしています。これらの活動を繰り返していく中で、4年次に行う卒業論文のテーマを絞り、その準備を行っていきます。本ゼミナールには道徳の授業ができる教師（安定したクラス経営の上に道徳の授業は成り立つといわれます）を目指す学生が複数所属し、夢に向かって努力をしています。

また、先ほど述べたように、本学科では心理学以外のゼミナールを選択することが可能です。そこで、医学のゼミナールに所属し、医学的知識と心理学的知識を併せ持った養護教諭を目指す学生や、音楽のゼミナールに所属し、音楽や作曲のスキルを磨きながら子どもの心理も分かる幼稚園教諭を目指す学生もいます。



写真2 ラウンジで行われるゼミナールの様子（右奥はアリーナ棟）

### 卒業後の進路

本学科の卒業生の進路は、大きく教職と民間企業に分かれます。2013年度を例に挙げると、教職に関して幼稚園教諭が約18%、養護教諭が約18%、小学校・特別支援学校の教諭が約8%と全体の4割以上を占めています。これらの卒業生は子どもの視点がわかる、そして、心理的側面からのサポートもできる教員として活躍をしています。また、民間企業に関して、社会福祉事業専門員が約10%、事務職が約15%、販売職が約10%、サービス職が約8%などとなっています。こちらも子ども関係の就職をしている卒業生が多くみられます（例：学習塾、子どものアパ

レル）。さらに、公務員や就職以外として大学院に進学する卒業生もいます。

これらの就職活動に先立ち、本学には教職センター、就職センターなどが設置されており、いつでも相談に行き（教職担当教員やキャリアアドバイザーが在籍しています）、学年に応じた就職準備を進めていくことが可能となっています。また、活躍する卒業生のOG講演がいくつも用意されており、具体的な質問をすることも可能です。これら以外にも、各種就職活動のための準備講座やサポートが複数用意されています。

### おわりに

高校生みなさんにとって大学進学は最大の関心事のひとつだと思います。それに加えて、大学入学後の4年間をどのように過ごすかも人の発達にとってとても大事なことになると思います。心理学という学問はご自身を含めて人や人の発達についてじっくりと考えることができる時間を提供してくれるのではないかと思います。たとえば、本学にはゼミナールの指導教員以外にもクラスアドバイザー制度（本学科は1クラス約30名／各学年2クラス）があり、学生は必要に応じて学内の複数の立場のスタッフに進路や就職などについて相談することもできます。

みなさんがご自身の思い描く未来に向けたよりよい進路決定をなさること、そして、心理学を学んでみたいと思ってくださる方が増えますことを心より願っております（なお、本学ではオープンキャンパスといった形で高校生向けの公開講座をご用意しています。ご関心をお持ちの方は本学入試・広報センターへお気軽にお問い合わせください）。